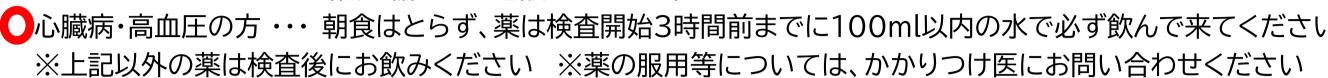
バリウム検査をご希望の受診者さまへ

食事・水分・薬の内服について

- ・ 検査前日の夜10時以降検査終了まで食事(朝食含む)・飲酒はしないでください。
- ・ 水以外(アメ・ガム類・牛乳・コーヒー・お茶・スポーツドリンクなど)は避けてください。
- ・水は夜間は飲んで差支えありません。お薬の服用など検査開始3時間前までは100ml以内の飲水は可能です。
- 検査終了までは、タバコもひかえてください。
- 検査当日の内服について
- 薬の服用、およびインシュリン注射はしないでください ★糖尿病の方 (低血糖になる危険があります)



◆ 下記の方は当院で検査を受けることができません ◆

- 検査当日の血圧が、170/100mmHg以上の方
- ・妊娠中、または妊娠している可能性のある方
- ・バリウム服用によるアレルギー症状のある方や以前、服用後気分が悪くなり検査を中断したことがある方
- ・腸閉塞や腸ねん転と診断された後、初めてバリウム検査を受ける方
- ・3年以内に腸閉塞や腸ねん転、大腸憩室炎と診断され治療を受けたことがある方
- ・潰瘍性大腸炎・クローン病・パーキンソン病の方、大腸憩室炎・下部消化管穿孔の 既往のある方及び通院中の方
- ・心臓病、腎臓病(人工透析)で水分摂取の制限がある方
- ・過去2か月以内に大腸ポリープを切除された方
- ・過去1年以内に手術された方(全ての手術を含みます)
- ・過去1年以内に心筋梗塞や脳梗塞等の病気を発症したことのある方
- ・ペースメーカー及び除細動器を腹部に装着している方、もしくは装着部位が不明の方
- ・体重が135kg以上ある方
- バリウムが気管に入ったことのある方
- ・80歳以上の方及び75歳以上で初めてバリウム検査をされる方

下記の方は胃バリウム検査には適しません。胃カメラをご検討

てください

- ・胃の全摘手術(胃を全部切り取る手術)を受けられた方
- ・食事中よくむせる方
- ・脳卒中などによる麻痺や運動障害があり、また高齢等で身体を支えたり動かすことが困難な方
- 胃・十二指腸の治療中又は経過観察中の方は、かかりつけの医療機関で受診してください

◆ 下記の方はかかりつけの医療機関で相談し許可を得た上で当院の検査を受けてください ◆

- ・ひどい便秘の方(検査当日を含め5日以上排便のない方)
- ・前回バリウム便が出ず浣腸を使用したり医療機関を受診した方
- ・大腸の病気で治療中または経過観察中(薬を服用していないが定期的に医療機関を受診している方)
- ・腸に憩室があると診断された方
- ・消化器の手術後(腹腔鏡下を含む)初めてバリウムを飲む方
- ・喘息症状のある方

バリウムによる副作用

- ・誤って気管や肺に入ると、咳き込み肺炎を起こすことがあります。
- ・発疹、気分が悪くなる、息苦しいなどの過敏症、アナフィラキシー様症状の報告もあります。
- ・バリウムが停留する事により腸管内にバリウムが溜まりまれに消化管穿孔、腸閉塞、憩室炎等の 症状を引き起こすことが報告されています(検査後数日は水を普段の2倍くらい摂ってください)。
- ・その他の副作用に排便困難、便秘、一過性の下痢、出血、悪心等があります。

<u>重要 排便困難・腹痛等、体調に異変を感じたら直ちに医療機関を受診してください。</u>



